6.10. 内部倉庫最適化

在庫補充には、もう1つの方法があります。それは内部倉庫移動です。

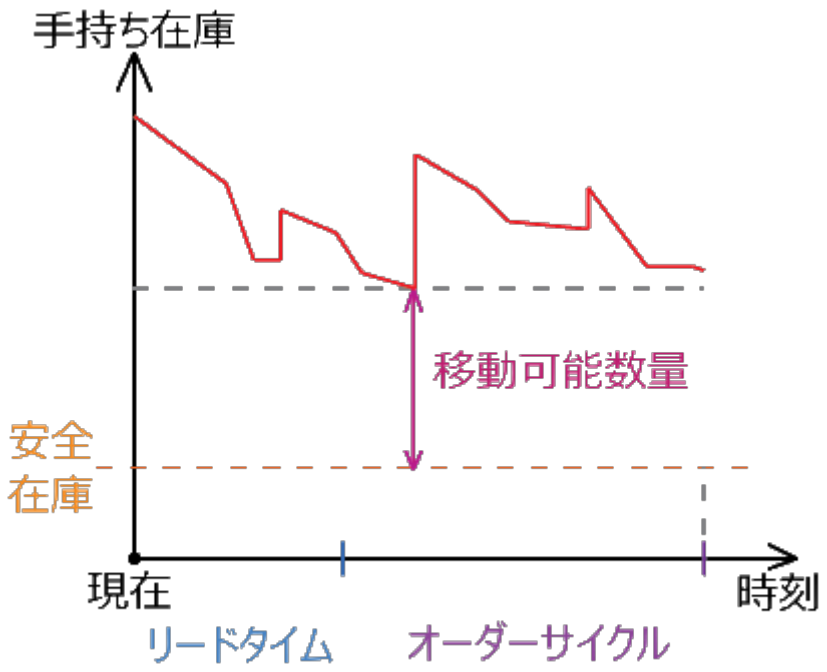
内部倉庫最適化の目的は、(購入先または物流センターへ)追加の補充オーダーを作成する前に、社内の凍結資産を開放の手助けと、過剰在庫を使い在庫補充の手助けをすることです。

この文章では、内部倉庫移動の作成に利用される方法の説明と**内部倉庫最適化**タブの説明をします。

内部倉庫移動作成方法

内部倉庫移動作成の基本的な方法を説明します。次の手順で構成されています。:

1. 最初に、GMDH Streamlineは、他の保管所の補充に利用できる計画品目の一覧を作成します。各計画品目の移動可能数量は、**リードタイム**に**オーダーサイクル**期間を加算した期間内の最小の予測過剰在庫数量になります(下記の図を参照)。



上記の数量は、将来の在庫移動のイベント型シミュレーションの実行結果から得られます。ここで、この数量を*移動可能数量*と表記し、上記品目一覧を*補充元品目一覧*と表記します。

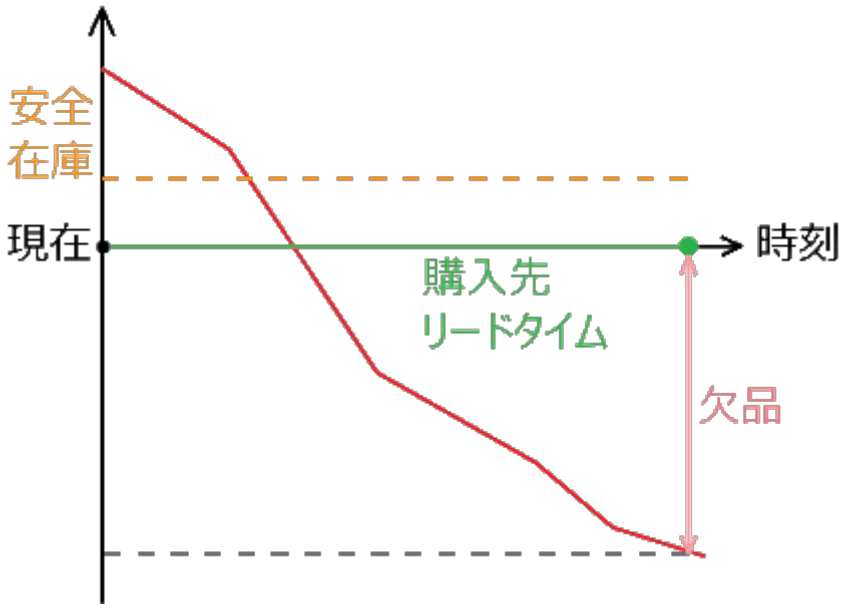
2. 次に、欠品がある、あるいは購入先や物流センターから補充される計画品目の一覧を作成します。一覧を作成するため、GMDH Streamlineは、次のリードタイムパラメータから今回のオーダーセクションを再計算します。:

- 購入先から供給される計画品目の場合、デフォルト内部倉庫リードタイムが利用されます。デフォルトは、1日になります。

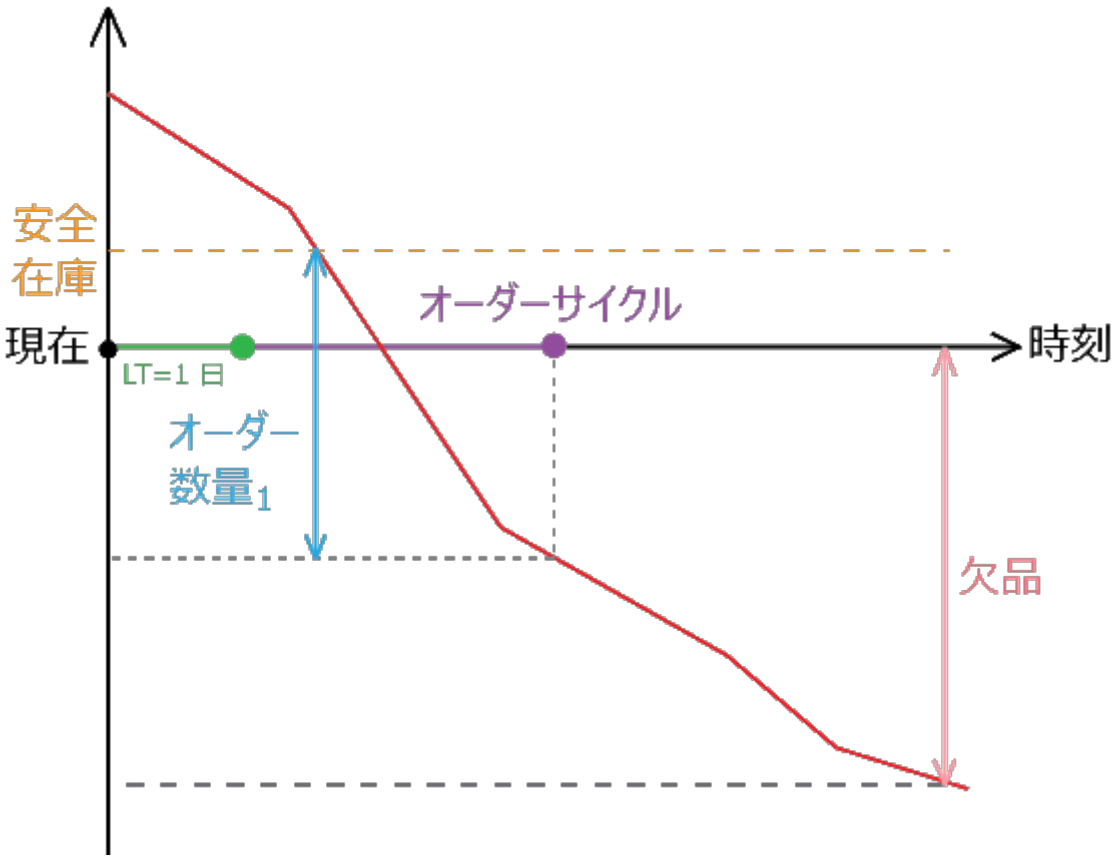
- 物流センターから供給される計画品目の場合、物流センターから保管所までのリードタイムが利用されます。

この数量を、1つの計画品目を対象とするオーダー*数量*$_1$と表記し、一覧を*補充先品目一覧*と表記します。

ここで、とある計画品目に欠品があると仮定します(下記の図を参照)。



ここで、**今回のオーダーセクション**が、**リードタイム**の後の**オーダーサイクル**期間中の需要に対応するオーダーを表示することを思い出してください。つまり、このような再計算は、潜在的な欠品に対応するオーダーを作成します(下記の図を参照)。



上記では、**オーダーサイクル**は、購入先からのリードタイムより短い場合でした。そのため、今回のオーダー 数量は、一部の欠品に対応します。しかし、将来のオーダーサイクルで、この欠品に完全に対応します。仮に、**オーダーサイクル**が、購入先からのリードタイムより長い場合、1回のオーダーで欠品に対応します。

3. 2つのフィルターを*補充先品目一覧*に適用します。第1フィルターは、*補充元品目一覧*から補充できる品目だけを残します。第2フィルターは、*オーダー数量*$_1$が0となる行を削除します。

4. 上記のフィルター適用後、*補充先品目一覧*内の各計画品目に対して、*オーダー数量*$_1$と欠品間の最小が0以外の数量を、*移動数量*として決定します。

5. 次に、*補充元品目一覧*を*移動可能数量*の降順で並び変え、*補充先品目一覧*を*移動数量*の降順で並び変えます。

6. 最後に、*補充元品目一覧*内の各計画品目について、2つの並び替え後の一覧を調べます。そして残っている*移動可能数量*が現在の*移動数量*を完全に対応できるまで*補充先品目一覧*からの行を取り出しながら、内部倉庫移動を作成します。

この基本方法は、以下になります。:

- 補充は、最大量の欠品を最優先し、数量が少なくなるほど優先度が低くなります。この背景のロジックは、多量の予測欠品在庫は、その発生確率が高くなると仮定しているためです。
- 大量の欠品をオーダーすることで発生する過剰在庫を防ぎます。これは、第2フィルター動作を保

証します。

上記に加えて、移動が許可される区域を導入することで、基本方法に制約の追加ができます。これには、移動区域と呼ばれる特殊なデータタイプをインポートします。このデータタイプは、移動が許可される(地点の組み合わせである)区域を設定します。同一区域の移動は許可されますが、異なる区域間の移動は禁止されます。

説明

内部倉庫最適化タブは、在庫計画 タブのレイアウトの複製です(下記の図を参照)。



このタブは、内部倉庫移動の確認とエスポートが目的です。内部倉庫移動は自動で作成されます。

内部倉庫最適化タブ内の列の説明は、下記の一覧表に紹介する列を除き、**在庫計画**と同じです。

列	説明	
リードタイム	移動のリードタイムを表示します。計画品目が購入先から供給される場合、デフォルト内部倉庫移動リードタイム、または計画品目が物流センターから供給される場合、**リードタイム(在庫計画** タブから取得される)のどちらかです。	
今回のオーダーセクション	このセクションは、移動リードタイムに基づき再計算されます。	
	数量	移動の数量を表示します。この数量は、オーダー数量[1] からの最小で0ではない数量であり、(**在庫計画**タブにある)**欠品**です。
	今回のオーダーセクション内部の他の子列は、このセクション内にある**数量** 列のために計算される特徴を表示します。	

供給元列のハイパーリンクは、 **在庫計画**タブへジャンプし、移動の供給元となっている計画品目にカーソルを合わせます。例えば、移動を満たすことができる十分な**手持ち在庫**を持つ供給元の地点を確認する場合に、この機能が役に立ちます。

ツールバーにある設定ボタンはプログラム設定 ダイアログを開きます。このダイアログにある**在庫**タブ内の複数のオプションは、**在庫計画**タブと**内部倉庫最適化**タブの両方に適用されます。

内部倉庫最適化ツールバーの説明は、**在庫計画**タブと同じです。

次へ: 物流センター

PDFダウンロード

From:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:inter-store-optimization

Last update: **2020/09/28 12:52**